

警察庁によると、2025年の全国の山岳遭難発生件数は3122件（前年比176件増）、遭難者は3623人（同266人増）。このうち、死者299人、行方不明者33人の合計332人（同32人増）。負傷者は1480人（同90人増）、無事救助が1811人（同144人増）となっています。都道府県別では、長野県が358件と最多、次いで北海道199件、山梨県192件。

山岳遭難の概況等について

山岳遭難を未然に防ぐためには、

①気象条件・体力・技術等に見合った登山計画と、服装・用具・通信機器等の万全な装備品や食料の準備②登山計画書・登山届の提出（警察・

自治体などへ）

③滑落・転落防止（手入れされた装

備品の使用）④的確な状況判断（天候不良や体調不良時の早期判断）などが重要です。また、なるべく複数人での登山をお勧めします。

防犯一口メモ